

科目	専攻科実験 (Laboratory Work in Advanced Course)		
担当教員	中辻武, 赤対秀明, 尾崎純一, 藤井富朗, 津吉彰, 道平雅一, 尾崎進, 若林茂, 松本久司, 小泉拓也, 牧野貴至, 橋本渉一, 山下典彦, 上中宏二郎, 柿木哲哉		
対象学年等	全専攻・2年・後期・必修・1単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	C-1(50%) C-2(30%) C-4(20%)	JABEE基準1(1) (d)2-a,(d)2-b,(d)2-c,(d)2-d,(e),(f),(g),(h)
授業の概要と方針	幅広い技術の習得と複合的視野を養うことを目的として, 他専攻の学生と共同して実験ならびに実習を行う。各専門学科から提供された複数のテーマを, グループ内学生や担当教員と適宜ディスカッションを行いながら実験を行う。また実験内容や得られた結果に関するレポートを提出する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【C-1】実験趣旨を十分に理解した上で実験を行い, 実験原理, 方法, 技術を習得する。		実験テーマに対する下調べや準備状況, 実験の進め方を実験中の活動およびレポートで評価する。
2	【C-1】実験で得られた結果を整理し, 考察を展開してレポートとしてまとめることができる。		実験への理解度, 結果の適切な処理および考察の内容をレポートにより評価する。必要により面談で理解度を確認する。
3	【C-2】他分野の工学に関心を持ち複合的視野を持つ。		他分野実験の理解度とその経験を自分の専門分野へ反映させる複合的視野がえられたかをレポートにより評価する。必要により面談で確認する。
4	【C-4】グループ実験により協調性を養い, 共同実験者や指導教員と積極的かつ建設的な議論を行うことができる。		グループで協調して実験をすすめ, 共同実験者と積極的かつ建設的な議論を行ったかどうかを実験中または面談により評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は, レポート50%, 実験の遂行状況50%として評価する。各テーマにおいて実験の遂行, 理解度, 技術の習得, 考察力を総合して100点法で担当指導教員が評価し, その平均を総合評価とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	各実験テーマで準備されたプリント, 機器のマニュアル。		
参考書	各実験テーマに関して指導教員が示す参考書。		
関連科目	提供される実験テーマに関する基礎, 専門科目		
履修上の注意事項	実験テーマに関係する他分野の工学についてその基礎知識を予習しておくこと。また, 出席し実験を行うことを前提として評価を行う。		

